

統計

●一九一四年英國銑産額

英國鐵業組合の調査に係る昨年中大英國の各種銑鐵地方

別産出高竝に既往八年間の産額對照表左の如し。

産地別	フォージ銑及フアウ ンドリー銑	ペセマ タイト銑	鹽基性銑	フスビーゲルアイゼン、 フエロマンガニース	銑合計
スコットランド	四九一、八八五 <small>噸</small>	六〇六、七四五 <small>噸</small>	三六、四九九 <small>噸</small>	五、二二五 <small>噸</small>	一、一四〇、三五四 <small>噸</small>
北東海岸地方	一、一八〇、七四五	一、一一一、九〇八	八四二、五四九	一七八、〇二五	三、三一三、二二七
ノーサンプトンシャー	三三六、七七五				三三六、七七五
リンコルンシャー	一三五、二二五		三四六、四四〇		四八一、六六五
ダービーシャーノッツ及レス ターシャー	七二一、二八六		一、一四七		七二二、四三三
スタフォードシャー及びウィースター シャー	三六二、四六八		三二三、一九五		六八五、六六三
カムパーランド及ひランカシャー	八八、一二二	八三一、三六二	一四九、五三八	一一六、五七六	一、一八五、五九八
サウス、ウエールズ及びモンマウス シャー	九、五〇六	六八五、三八八	五七、〇六三		七五一、九五七
南及西ヨークシャー	九四、三七〇		一六九、一三八		二六三、五〇八
ノース、ウエールズ、シユロツプア ンシャー及びウキルツ	一〇、〇六六		七八、一二四	三六、五二八	一二四、七一一
合計	三、四三〇、四四八	三、二三五、四〇三	二、〇〇三、六九三	三三六、三五四	九、〇〇五、八九八
一九一三年の合計	三、九四三、一三九	四、〇五七、七〇〇	二、一二五、六八九	三五五、三八九	一〇、四八一、九一七

一九一二年の合計	三、四三一、七二七	三、四〇八、三八六	一、七七一、七七一	二七七、二四〇	八、八八九、一二四
一九一一年の合計	四、〇一二、九九三	三、五一九、七八四	一、九一七、二二〇	二六八、六四一	九、七一一、六三八
一九一〇年の合計	四、一二七、二四三	三、八九二、五三三	一、八七五、八三四	三二一、四一二	一〇、二一七、〇二二
一九〇九年の合計	四、三二三、二四一	三、五五九、七七三	一、四四九、八六二	三〇八、七一九	九、六六四、二八七
一九〇八年の合計	四、三二二、〇五二	三、三七六、〇九九	一、二一九、四〇四	二七三、九九五	九、二八九、八四〇
一九〇七年の合計	四、五一二、九八五	三、七七六、七九七	一、四〇六、〇三八	二二八、〇三六	九、九二三、八五六
一九〇六年の合計	四、五八七、六〇六	三、九九〇、八二〇	一、二六三、三一七	三〇七、六四五	一〇、一四九、三八八

猶各産地毎の銑鐵産額を昨年及び其前二箇年を對照して 左表の如し。
 之を掲げ併せて參考として昨年上半年の産額を併記すれば

産 地	一九一四年上半期	一九一四年の合計	一九一三年の合計	一九一二年の合計
スコットランド	五九〇、四七三 <small>噸</small>	一、一四〇、三五四 <small>噸</small>	一、三六七、九八九 <small>噸</small>	一、一九八、七六七 <small>噸</small>
北西海岸	一、七六二、二〇九	三、三三三、二二七	四、〇二六、一一六	三、三五七、七〇八
ノーサムプトンシャー	一五九、七二三	三三六、七七五	三九八、〇七四	三六三、八二二
リンコルンシャー	二二一、〇八五	四八一、六六五	五〇四、六一六	四一四、三三一
ダービーシャー、ノッツ及びレスターシャー	三五六、〇八一	七二二、四三三	七七〇、三〇三	六三七、七三三
スタフォードシャー及びウースターシャー	三六九、九九五	六八五、六六三	八〇〇、四二七	七五〇、三五二
カムバールランド及びランカシャー	五七一、八三二	一、一八五、五九八	一、二九〇、八四〇	一、〇二五、六八八
サウスウエールス及びモンマウスシャー	二八八、三五四	七五一、九五七	八七九、六七六	七五三、六九四

南及西ヨークシャー ノース、ウエールズ、シユロップシャー及 ひウキルツ	一、二五、二七〇	二六三、五〇八	三〇二、六九五	二六五、八二九
總計	六二、九六二	一二四、七一八	一四二、一八一	一二一、二〇〇
	四、五〇七、九八四	九、〇〇五、八九八	一〇、四八一、九一七	八、八八九、一二四

(本年四月二十三日發行ゼ アイアン エンド コール
ツレーヅ レピユーより た生)

●一九一四年米國銑産額 米國鐵鋼協會統計部の

報告に據れば一九一四年中合衆國にて産出せし銑は一九一三年の三〇、九六六、一五二噸に對し二三、三三三、二四四噸にして約七百六十萬噸の減少を示せり其詳細左記諸表の如し。

表中には衝風爐又は電氣爐の何れにて製造されしを問はず銑及び各合金鐵全部を算入せり。又第三表にて有煙炭にて製造せし銑は「コークス銑」中に入れ、無煙炭及骸炭の混合物にて製せしものは「無煙炭銑」の中に入れ、骸炭及び電氣にて製せしものは「コークス銑」の中に入れ、木炭と電氣にて製せしものは「木炭銑」の中に入れたり。第一表にて含磷量〇・〇四乃至〇・一〇パーセントの銑は「ベセマー銑」と名け又低度の含磷銑(含磷量〇・〇四パーセント以下)も此

内に入れ、木炭銑の約全部は「ファウンドリー銑」と名け、鹽基性に屬する木炭銑少量を「鹽基性銑」中に入れ(一九一二年以前にては鹽基性銑中に入れざりしなり)、フェロ、シリコンは硅素の七パーセント若くは其以上を含める銑を稱し之を「ファウンドリー銑」の中に入れ、白銑又は斑銑、ダイレクトカステング直用鑄物、及び各種合金鐵は「其他一切」の中に入れたり。産額總數に對する產地別の割合は左の如し

ペンシルベニア州	四一・七二パーセント
オハヨ州	二二・六四パーセント
イリノイ州	七・九二パーセント
アラバマ州	七・八三パーセント
ニューヨーク及ニュージャージー州	六・六九パーセント
インヂャナ及ひミシガン州	六・六七パーセント

第一表 一九一四及一九一三年各種銑産額、總額に對する割合並に其増減率

銑種	一九一四年産額(噸)	合計の百分率	一九一三年産額(噸)	合計の百分率	一九一三年に對する一九一四年の増減率
鹽基性銑	九、六七〇、六八七	四一・四五	一二、五三六、六九三	四〇・四八	減 二二・八六
ベセマール銑	七、八五九、一二七	三三・六八	一一、五九〇、一一三	三七・四三	” 三二・一九
フアウンドリール銑	四、五三三、二五四	一九・四三	五、二二〇、三四三	一六・八六	” 一三・一六
マリエブル銑	六七一、七七一	二・八八	九九三、七三六	三・二一	” 三二・四〇
フオールジ銑	三六一、六五一	一・五五	三二四、四〇七	一・〇五	増 一一・四八
スピーゲルアイゼン	七九、九三五	〇・三四	一一〇、三三八	〇・三六	減 二七・五五
フェロマンガニース	一〇六、〇八三	〇・四六	一一九、四九五	〇・三八	” 一一・二二
其他一切	四九、七三六	〇・二一	七一、〇二七	〇・二三	” 二九・九八
合計	二三、三三二、二四四	一〇〇・〇〇	三〇、九六六、一五二	一〇〇・〇〇	” 二四・六五

第一表に據れば一九一四年に増加せしものは獨りフオールジ銑のみなるを知るべし。又同年中鑄造に供し又は輸出せしる銑の製方別は左の如し

又鹽基性銑に在ては六、四三六、一四六噸は鎔金狀にて輸出せられ、ベセマール鐵に在ては五、四六七、六八七噸を輸出せり。

鎔金狀 一一、九一一、二四七噸

木炭銑既往三箇年毎の産額を其吹方に別ち記載せは第二表の如し

砂鑄 四、八一四、八五九噸

機械鑄 五、八五四、六六一噸

冷剛鑄 七三八、〇一八噸

直鑄

一三、三五九噸

コールブラスト 八八六噸

一九一二年(噸) 一九一三年(噸) 一九一四年(噸)

一九一二年(噸) 一九一三年(噸) 一九一四年(噸)

第二表 既往三箇年の木炭銑産額

一九一二年(噸)

一九一三年(噸)

一九一四年(噸)

ホツト又はウオ ムアラスト	三三八、六一	三三九、七五九	二五四、六三〇
計	三四七、〇三五	三三九、九六一	二六三、九三四

一九一四年の産出銑を其使用燃料別に據り上下兩半季に分ち記載すれば第三表の如し

第三表 使用燃料別銑産額(一九一四年)

上半季(噸)	下半季(噸)	合計(噸)	
骸炭製	一三、三四、八二〇	一〇、四二、〇三六	二三、九七、八五六
無煙炭製 <small>(骸炭混合製を含む)</small>	五七、五〇七	三三、九五七	九一、四六四
木炭製	一四三、七六七	一一〇、一五七	二六三、九二四
計	一三、五三六、〇九四	一〇、七九六、一五〇	二四、三三二、二四四

右産額の内賣買用として製出せる銑は七、三六二、九八〇噸にして製造人自用として製出したるものは一五、九六九、二六四噸なりとす。又昨年末現在の衝風爐數は四百五十一箇所ありて内吹入中のもの二百八十七箇所とし残り百六十四箇所は吹入を爲さす

(三月十九日發刊 ゼアアイアン エンド コール トレーヅ レビュウより た生)

●昨年中の米國軌條製造高

米國鐵鋼學會統計部の報告に據れば合衆國昨年中の軌條製造高は一昨年と比較し一、五五七、六八六噸即ち約四割四分の減少を示せり、左に同國に於ける既往四ヶ年の製造高を掲ぐ

平爐鋼	ベセマー鋼	再製鋼	電氣鋼	鐵	合計
一九一一年	一、六七六、三三三	一、〇三三、四四〇	一、七七一、七七一	四、六二二、二四四	二、八三三、七七〇

一九一二年	二、一〇五、二四四	一、〇九八、九六六	一九三九、〇	三、四四五	—	三、三三九、九一五
一九一三年	二、五七、七〇〇	八七、九六一	一、五〇、四三三	二、四三六	—	三、五〇、三七〇
一九一四年	一、五五、八五一	三三、八七七	九、五一、六九	一七六	—	一、九四、〇九五

前表中「再製鋼」欄には古鋼より再展せしもの及び再製品にして製造者かベセマー又は平爐等の如く種別し得ざるものを挙げたり、合計噸數に對する各種目噸數の割合(百分率)の前年との比較は左の如し

平爐鋼	ベセマー鋼	其他	
一九一三年の%	七三、二六	二、三三四	四、五〇
一九一四年の%	七六、四五	一、六六五	四、九八

電氣鐵道及び市街鐵道に使用せし鋸桁竝に高丁字形軌條も前二表中に包含せるか其近年に於ける製造高(噸)を掲載すれば左の如し

一九一一年	二〇五、四〇九
一九一二年	一七四、〇〇四
一九一三年	一九五、六五九
一九一四年	一三六、八八九

前記製造高を長一碼毎の軌條目方別と爲す時は左表の如し

軌條種別	五十封度以内のもの	五十封度以上八十封度以内のもの	八十五封度以上のもの
平爐鋼	九六、〇六八	三二、四二四	一、二八三、六九九
ベセマー鋼	七六、三八〇	九七、〇六三	一四八、五五四
再展鋼	六四、〇六一	一、三五六	二九、七五〇
計	四五七		

電氣鋼 一四 三〇 一三四
 合計 三六四三三 三〇九、八六五 一、三九六、八〇七

合金類軌條も前記諸表中に包含せり其毎年の製出高は之を掲載すれば左の如し

年	合金別(噸)		製法別(噸)		合計
	チタニウム	マンガン並に其他の合金	平爐及び電氣鋼	ベセマ鋼	
一九一〇	二五六、七五九	五五五	二七、三六九	二二九、九三三	二五七、三三〇
一九一一	一五三、九九〇	九九九	三八、五三九	一一五、四五〇	一五三、九八九
一九一二	一四一、七三三	七、四九七	四〇、三九三	一〇八、八七四	一四九、三六七
一九一三	四七、六五五	一一、八六四	三三、五六七	二五、九五三	五九、五一九
一九一四	三三、三三二	四、六六六	二七、四四七	四九〇	二七、九三七

昨年末の軌條展製工場數は二十四箇所ありて其の内十四箇所は平爐展製軌條を、九箇所はベセマ展製軌條を、一箇所は電氣展製軌條を製造す、然るに右の内十箇所は再製軌條若くは古軌條の再展を爲すものなりとす(本年四月十六日のゼ、アイアン、エンド、コール、ツレーヅ、レビユーより 九生)

●露國に於ける製鐵及び製鋼工場の設備 本表は露國統計局の編成に係り最近同國製鐵及び製鋼工場の設備の大綱を示すものとす、波蘭の工業地の一部は勿論獨人の占領に歸せしも爲めに衝風爐及び鋼塊製造高に影響を受けしは其割合僅少にして、同國平爐の總製出量は一燃焼

毎に約五千八百噸其約六分一は獨人の手に入れるか如し

工場數	國有		民有		合計	衝風爐	吹入	休業	修繕	工場閉鎖中	合計	ベセマ酸化爐	酸性		鹽基性		トロボナス及びロパートの數	平爐製造高(噸)	坩堝爐の數	熱風爐及び鍛接爐の數	精鑛爐の數	使用人總數	
	衝風、製鋼工場		衝風、製鋼工場										製造高(噸)	製造高(噸)	製造高(噸)	製造高(噸)							
	數	製造高(噸)	數	製造高(噸)																			
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10

(本年四月十六日發行ゼ、アイアン、エンド、コール、ツレーヅ、レビユーより 九生)

南露 烏拉爾
 モスクワ
 北露及波蘭

●輸出入貨物品別表

本年四月大藏省發行の外國貿易月表中鐵及鋼に關するもの左表の如し

第一輸出貨物品別表

内國產	大正四年四月		大正四年累計		大正三年累計	
	數量	價格	數量	價格	數量	價格
鐵管斤	六〇、九六七	五、八三四	一五五、四七九	一六、九〇九	一四三、一五六	一〇、四四九
屑鐵及故鐵斤	五七、七六七	一四、一六〇	四、三三六、二四五	八九、七九六	七、二六四、八九	一五五、〇八〇
鐵鍋及鐵釜		三、三五三		一七、〇九二		八、六五四
鐵製品		三四三、三三三		六七三、二五三		三三二、三二九
人力車輛	五四五	一九、二六四	一、八六八	六一、三三九	三、二五九	九九、八九〇
同部		二七、九五四		八二、七七八		三三〇、七四七
同部		一五〇、〇〇〇		二七〇、〇〇〇		一八〇、六一一
船舶(汽船)	一	三、三三七	二	四、五八三	四	八、〇九九
同(其他)		一四六、二六〇		五九六、〇五五		四八一、三三〇
機械同部分品及附屬品		一、六五四、八〇〇		六四五、二七三		八六六、二五四
石炭	二四〇、八〇六		九五四、七九〇		一、三〇三、五二一	

第二輸入貨物品別表

外國產	大正四年四月		大正四年累計		大正三年累計	
	數量	價格	數量	價格	數量	價格
鐵塊及錠合計	六二,六五七	二一,五五二	六八,六〇六	二九,三三二	三三六,一八三	一四三,九八四
鐵鑛						
鐵						
鐵塊及錠合計	八,六三二,六九五	二,三三,七四五	三,五〇,三〇,一八三	八四一,六五四	七五,〇五三,六〇四	一,七九五,五七一
銑						
スピールゲルアイゼン			六七七,三七六	三一,七四三	五七六,八五九	二,九九九
フエロマンガニース	八,四六七	七六一	二三五,八三六	二〇,四二〇	二八三,二九四	一七,五〇四
フエロシリコン及シリ	二六八,九〇一	二一,一〇七	七〇七,九三七	六六,七三〇	五二七,二九四	三一,八七一
コスビロシリコン及ゼン	二六九,六五〇	五,三二一	一,五六一,四三六	二六六,六五三	二四,〇五九	一七,二一八
他不可鍛性鐵合金	一,九一八,六六六	一五〇,四〇〇	二,三七九,四八一	一九三,三六三	六,九七〇,四七四	五二四,八三九
インゴット及スラーム	二七,六九二	二,三八九	八二,九四三	六,八二七	四一六,五八四	三三,五八四
ケツク及バンブースチール	二〇,七三,五〇三	一三五,九三三	一一,六〇〇,二九〇	六三四,六一八	一一四,五四一,二五三	四,五三〇,五一八
條、竿、テーパー、アングル形類	六五九,五九六	四九,三六〇	二,一〇九,三九三	一四二,九六三	一,八八六,四九六	一四五,七四一
ワイヤロッド	二,六五九,六五四	一五九,八〇三	一九,〇九七,九七一	一,〇八五,七三八	六九,三〇五,七八	三,二七六,一三四
板 (金屬を鍍せざる)	一一,二四,一二四	一〇六,三〇七	四,一五九,四七九	三八六,一九九	一八,九四六,五八三	一,七一六,六九五
板 (電鍍の)	二,三四三,四二一	二二六,一三〇	一三,二九二,三八六	一,二二〇,一三四	一六,〇三七,二二三	一,四九四,九一六
同 (葉鐵葉鋼其他)	一七一,六一〇	一四,六八八	六九三,七二二	五一,三〇〇	二,三四〇,六七六	一五一,六四八
線 (金屬を鍍せざる)						

同 (電 鍍 の)	二,九三七,一三五	二,三二一,二九三	七,四三三,七八八	五,六〇,九三三	一五,六九九,〇三五	九,五九,〇三一
帶 及 箍	七四,〇七五	四,六一五	三三二,一三三	一四,〇一一	二,七二六,九四六	一,三七,五七六
線 索 及 燃 合 線	五,七六三	一〇,六九五	一七,四六一〇	三二,四五三	八六九,一八九	一,六二,九四六
筒 及 管	二八二,七〇九	二四,七三九	五,九九一,六五八	五〇八,三〇九	二二,〇〇七,三三〇	一,八六一,一〇六
屑 及 故	三三三,八七六	七,四九七	一,二〇一,八五八	三,八七〇〇	一,二三八,一七五	四一,三九八
釘 類 (リベット ドゥックス バイキ)	一八二,八三二	三,五七〇〇	一,〇六二,五三四	一,五四,八四七	七,六一八,四八二	五八〇,五五一
鐵道建設材料 (其他)	一八二,六六一	六,〇〇九	九,〇五三,八八六	三,四三,五二六	一,三八三,五八六	五八,九七八一
電線支柱同部分品 (並ニ支架 用材料)	一五	一一	三七八	三〇九	四,五四,九六三	四〇八,三二七
家屋橋梁船舶等建設材料	三,四六三	六,一八〇	一,五六,一八一	二〇,五〇八	二,五七四,五三六	二,五六,七四六
鐵道車輛及部分品	一七,八五〇	一七,八五〇	九六,一九四	七〇,四五四	六二〇,八九九	一九九,八九九
自働車及部分品	五,六七七	六,一八五二	一七九,九五八	一,八四〇,三二六	七三五,〇四四	七三五,〇四四
自轉車及部分品	一	二五〇,〇〇〇	三	三六三,九三四	二,二九,六九七	二,二九,六九七
汽 船 (船齡十年以下)	一	七九,三二二	三	一五六,八五四	二	二八七,一五六
同 (其他)	一	二五〇,〇〇〇	三	三六三,九三四	二	二八七,一五六
汽罐、同部分品及附屬品	七二,一三六	六,二八六	三五七,八二二	三一,五六三	二,五四,四六五	二,三三,四〇七
フューエルエコノマイザー	一	三,二九四	一	一四九,三二二	一	一五五,四四二
鐵道機關車及同炭水車	一	一	一	一	一	一
蒸氣機關車類	一	一	一	一	一	一
蒸氣機關及スチームタ	二,〇七五	二,四三,四一一	六八,〇四五	四四,〇五三	八四〇,〇一八	三三八,六〇五

瓦斯、石油、熱氣機關	三九、七三三	二一、三三三	一六五、二五三	一〇一、六六五	三〇七、九七三	一三三、一六九
ウオータータービン及ベルトトン水車	六、八六五	四、四四七	六七、九五四	二八、七〇〇	三七〇、五八七	一三五、〇〇六
發電機 電動機類	一五、〇七九	七、五〇五	六〇八、六三九	二九二、四九三	二、五〇九、八七七	一、〇七八、四四八
縫衣機	一三、一三四	六七三七	一、二六、八九七	六四、二九	三三、六〇六	五〇、七四五
金屬工及木工機械	二五四、八〇三	七九、三三三	八七〇、四四九	三一四、五七四	三、八二五、四三〇	一、二一五、六四三
紡績機	四八二、八七三	一、二九、五六五	一、四一、九五〇	三五九、八一五	九、二七四、六一八	二、四五八、九六八
石炭	五三、三五五	三五八、一九七	二五三、七〇九	一、九三一、三五二	二〇九、九六七	一、六〇七、三三八

●大正四年三月中本邦鐵山及炭坑產額表

(農商務省鑛山局調査)

鐵の產出狀況

鑛山名	所在地	四年三月	三年三月	鑛山名	所在地	四年三月	三年三月
輪西	十勝(銑)	六〇、七六一 <small>貫</small>	五五二、二七六 <small>貫</small>	幾春別	同	二、六五五、九四四	一、五六三、四四〇
釜石	岩手(銑)	七三三、三三三	一、二六三、一一三	幌內	同	二八、三六九、一五二	三二、三三七、三三六
	鋼	三九一、〇五三	四一三、七四九	奔別	同	一四、一六七、九四四	一六、七三六、五八四
仙人	同(銑)	—	—	三井登川	同	一八、七五四、〇七五	一八、六九五、二〇八
栗木	同(銑)	五三、二四一	三九、六六〇	大夕張	同	一五、〇四七、八一〇	一三、八一、七八四
石炭の產出狀況				歌志內	同	九、五三一、八一六	一一、九四四、八〇〇
鑛山名	所在地	四年三月	三年三月	文珠	同	六、七三三、三六〇	七、三三九、八四〇
夕張第一	石狩	一四、五六五、一六八 <small>斤</small>	九八、二八〇、〇〇〇 <small>斤</small>	入山	福島	七、三五〇、九〇九	八五、一四三、三九八
真谷地	同	二四、四三六、四四〇	二七、三三九、一〇四	小野田	同	三三、六四八、〇〇〇	三五、〇七三、〇〇〇
新夕張	同	二四、七〇九、三三三	五四、一〇一、三六〇	內郷	同	五九、五八二、九六〇	五四、二九三、八〇〇
空知	同	二九、五六六、二四四	三八、五六七、四二四	玉城	同	四、七三三、六三〇	八、三七〇、五三〇
				好間	同	三八、五六七、九七〇	四九、四五四、四四〇
				隅田川	同	八、三五三、〇四〇	一〇、三三六、二五〇
				重內	茨城	一一、八九五、九七五	一四、八六三、八四七
				茨城無煙	同	二五、七九一、一四六	二八、七〇八、二九三

山口無煙	茨城	七、六一八、三四九	八、八七五、三〇九	一五、七三五、九一〇	二六、五九八、八七〇
松浦	長崎	一〇、一七七、四〇〇	九、〇二四、九六〇	一三、〇二八、一三六	一五、五三九、四四四
高島	同	四〇、四〇八、五一九	三八、四八七、五五七	七九、〇八七、六八〇	九一、二七七、七六〇
松島	同	五〇、六三四、三三三	四三、三八一、三三九	七六、九四二、五三〇	七三、一六六、四三七
崎戸	同	三九、八八三、七七一	三六、二七三、三〇〇	九一、五九九、五三八	八九、五〇七、六六〇
香燒	同	六、七二七、五四五	六、九九八、九五〇	五、八八六、八一七	六、七〇二、六四三
沖ノ山	山口	三九、〇七〇、四〇〇	三五、一〇一、九〇〇	二六、三三九、六一五	二二、〇七一、八〇六
大嶺海軍	同	九、五六五、三〇五	五、九四二、七八三	六、〇一八、〇〇〇	七、一〇四、二八〇
東見初	同	一四、二四七、一三〇	一四、五三七、一三〇	一六、六二五、二〇〇	三三、六三五、九三〇
第二神原	同	三、八七九、六〇一	四、四〇九、五一九	四、六六五、九五三	六、四八四、七五七
大辻	福岡	一七、九三三、八八九	三五、七二五、二六九	四〇、三三三、三八〇	四六、一九六、六四〇
高江	同	一九、八三四、〇八〇	二九、六八三、五八四	二二、八七三、五四〇	三三、五八〇、四一〇
新海軍	同	五三、九五七、八〇〇	三九、三三三、二六三	二六、四三六、〇〇九	三〇、四一〇、一八七
岩崎	同	一七、二五一、三〇〇	二一、二二一、一八〇	一〇、二六四、三四五	三四、八七三、九七〇
御徳	同	三三、六四三、八一四	三〇、三三六、七五〇	一五、〇〇九、一三〇	一九、〇三九、三六〇
新入	同	六三、一三三、四三三	六三、〇六四、五三九	二、四九一、四三〇	五、二二六、四八〇
三好	同	一一、二四八、〇〇〇	九、三七六、五〇〇	一〇、七三五、八二〇	五、二五〇、〇〇〇
大之浦	同	一〇三、〇六三、〇六〇	一二四、四五二、〇五〇	一〇、五〇九、八六〇	九、九七五、〇〇〇
明治	同	六七、七八九、四三三	七三、三三八、八四〇	九、八六八、一五三	三、三〇八、八一〇
三本洞	同	三五、七四〇、三三〇	四八、三八七、三六〇	一〇、三四一、九八〇	一一、四九三、七九〇
井頭	同	五一、〇六九、八八〇	六九、二五六、五九〇	一〇、六七五、三三〇	二二、四九三、五三〇
木屋瀬	同	一四、三五四、三三八	一四、五五〇、七六〇	一四、八六一、三五〇	一一、九八四、〇〇〇
金田	同	四九、〇八四、九四六	四九、七六四、六三四	六、八七四、七〇〇	九、三八五、一八〇
大峰(舊火坑)	同	三九、九九九、一二〇	三四、三一九、二八〇	一一、五九三、〇〇〇	一〇、九九九、九三〇
赤池	福岡				
井田	同				
峯地	同				
横島	同				
豐國	同				
二瀬	同				
忠隈	同				
相田	同				
上山	同				
鯨田	同				
豆田	同				
三山	同				
芳野	同				
下池	同				
三池	同				
方城	同				
中鶴	同				
室木	同				
大隈	同				
高松	同				
高田	同				
龜山	同				
旭山	同				
三笠	同				
熊田	同				
泉水	同				

久原	岩屋	杵島第二	芳合	相知	杵島	新目尾	宇美	野田	平山
同	同	同	同	同	佐賀	同	同	同	福岡
四、三七三、四〇二	三〇、三〇五、一八〇	五五、四〇六、〇二〇	九四、一〇六、五三七	五五、四四九、二九〇	一四、七三三、六四〇	九、七一〇、六四〇	八、四七六、一六〇	七、七三三、二八〇	一七、九八一、三二〇
一三、二五八、五七三	二一、〇九〇、一八〇	四六、〇二四、〇七〇	七九、七〇七、八一八	五四、八二九、九四三	九、一三八、〇三〇	九、五二七、二四〇	六、一三三、二三〇	八、九四二、六四〇	一三、八八四、八一〇

鐵と鋼 第四號